

# 敦煌本漢籍書誌目録（スタイン本・書類）

小助川 貞 次

富山大学人文学部紀要第73号抜刷

2020年8月

# 敦煌本漢籍書誌目録（スタイン本・書類）

小助川 貞 次

大英図書館及びフランス国立図書館には多くの敦煌漢文文献が収蔵されており、目録や複製資料が公刊され、またデジタルアーカイブも公開されている。敦煌漢文文献のうち、漢籍類には、本文校勘の書込、科段、句読、破音、音注の加点が見られるが、このような加点現象に注目した研究はこれまで限られたものしかない。漢文文献に対する加点は、漢字文化圏諸言語（日本語、朝鮮語、ベトナム語）でも見られるものであり共通点も多い。漢字文化圏に広汎に行き渡った漢文文献を各地域・言語でどのように受容したのかを考える上で、テキストの在り方（現存状況、本文系統・注釈系統、本文構成）とともに加点に注目することで見えてくることは多い。稿者はこのような観点から敦煌漢文文献の加点に注目してきたが、本稿ではテキストデータとして処理した加点テキストを添えて書誌目録を報告する。全体で200点を超えるので、今回は大英図書館に収蔵されるスタイン本・書類の8点（S.799, 801, 2074, 5626, 5745, 6017, 6259, 8464）について報告する。なお本稿はJSPS 科研費JP18K00501 の助成を受けた研究成果の一部である。

## 凡例

### 1. 書誌項目

概ね以下の通りとするが、調査時のメモが無い項目については省略する。

【Stein No】、巻篇名、冒頭至末尾、題目、デジタルアーカイブの有無、紙質、修理状態、紙数（総行数）、一紙行数、一行字数、寸法（紙高×紙幅）、界線の有無（界高）、書写年代（加点年代）、本文字体概要、加点概要、調査年月日、備考、参考文献。なお、用例の所在はすべて3桁のアラビア数字で表す。

### 2. 加点テキスト

#### 2.1 本文

[ ] 一部分欠損 ( ) 完全欠損（欠損部分が長い場合には…で省略することがある） ■ 判読できない漢字 \$ 見消 [ ] 上書（下字が判読できる場合は〔下字=上字〕） A/B 傍記（本文Aの右傍にB） + 補入（補入内容が二字以上の場合は+{ }） & 転倒符

#### 2.2 字体

正字体処理を原則とするが一部異体字を用いたものがある（亂・乱、禮・礼等）。古体字は通行字体にBを付し、缺筆は通行字体にKを付して示す。

## 2.3 配行

原本の配行通りに翻字し、原本一行目から行番号を振る。印刷上、折返しが生ずるが、行番号が変わらない限り原本は一行である。割注は《 》で括る（割注内での改行は示さない）。

## 2.4 紙継

紙継箇所を<1>、<2>のように紙数を添えて示す。

## 3. 加点

### 3.1 加点具（色彩）

加点は朱筆でなされることが大半であり、加点テキストでは区別しない。朱点以外の加点具がある場合は注記する。角点については現状の保存状態では確認できていない。

### 3.2 科段

加点を示す符号があれば@で示す。

### 3.3 句読点

本文右下に加点される点は□.□のように示す。文末と句末の区別は無い。本文下中央に加点される点は□,□のように示す。名詞句の提示・並列、注釈構文の見出語の表示に使われる。

### 3.4 破音

破音は、文脈上における漢字の用法が転義であることを示すために漢字の四隅や周辺部分に点発や圏点を加点する手法である。Ⅰ型（漢字字画中央）、Ⅰ'型（漢字右傍）、Ⅰ"（漢字左傍下、日本の漢籍訓点資料のみに確認される）、Ⅱ（右上角から時計回りで平上去入）、Ⅲ型（右下角から時計回りで平上去入）、Ⅳ（左下角から時計回りで平上去入）、Ⅴ（左上角から時計回りで平上去入）の7種類が知られ、Ⅳ型から後世の四声点が発達する。本稿ではⅣ型のポジションを基準に、左下角をp（平）、左上角をs（上）、右上角をq（去）、右下角をr（入）とし、該当漢字に続けて示す。Ⅳ型以外は、c（Ⅰ型）、o（Ⅰ'型）、2p（Ⅱ型）、3p（Ⅲ型）、5p（Ⅴ型）のように示す。なお、陸徳明『經典釈文』（通志堂本）との関係を見るために、被注字（実際の注解箇所）を「k本文」のように示す（「下同」「注同」によって指示される被注字は、「k'本文」のように示す）。

## 4. その他

加点テキストで表しにくいものについては、該当箇所に\*を付け、末尾に注記する。

## 【S.799】尚書卷第6 泰誓中後半「謂暴亡傷」至武成末尾

### 1. 書誌

内題「泰誓B下第三 周書」（014）、「尚書牧B誓B第四 周書」（036）、「尚書武成第五B 周書」（061）。尾題無し。IDP 画像有り。楮紙。裏打無し（第5紙紙背に「五月五日天中節一切惡事盡消滅急急如律令／五五天天天」。第3紙紙背に「般若波羅蜜多心經觀」の書込あり）。5紙（104

行)。第1紙前半下半破損。一紙23行。一行18字。26.9糎×41.0糎。薄墨界。7世紀後期写。本文には古体字が多く用いられる（58字種139例）。缺筆は民（13例中12字）のみで、世・治は缺筆されず、また淵は古体字と異体字（測）の例しかない。加点は朱点（星点）による句点、読点（固有名詞の並列）、破音（IV型V型）がある。朱点・朱筆は変色して墨色（銀色）に見え、また剥落して薄朱のように見えるものも多い。句点は冒頭から牧誓前半45行目までと武成前半の68-69行目に集中し、それ以外は2例しかない。2006年3月11日調査。（参考文献）石塚晴通1970（30頁）、石塚晴通1995（45・51頁）、石塚晴通1992（249-250、253頁）、小助川貞次2007。

## 2. 本文

・古体字：57字種139例

謂：001,081,085, 夷：004, 徳：004,005,012,078,089,103, 亂：005,085, 視：006, 有：007,009,016,025,030,030,034,047,059,081,082,090,094, 揚：008, 疆：008, 罔：010,086,093, 誓：014,015,036,038,040,046, 時：015,024,309, 厥：015,016,049,050,066,077,080,087,088, 類：016, 五：017,055,061,100, 絶：018, 戮：020,030,059, 四：020,031,051,055,066,099, 海：020,099, 信：021,052,102, 棄：021, 享：023, 以：023,028,029,041,052,053,058,090,094, 恭：025,053,086, 撫：025, 辟：030, 厚：030, 罪：034,034,051,080, 牧：036,038,038,040,093, 戰：038, 旅：043,093, 稱：046, 其：046,076,078,078,080,088,093, 答：049, 使：052, 愆：054,055, 齊：054,056, 識：062, 既：071,072,085,091, 暨：072, 啓：074, 篤：075, 前：075,094, 基：075, 勲：077, 懷：079, 虐：083, 淵：084, 敢：085, 祇：085, 動：089, 濟：090, 陳：091, 俟：092, 率：093, 會：093, 封：097, 喪：102,102, 崇：103（初例出現順）

・缺筆：1字種12例

民：007,007,012,018,019,043,083,083,089,090,091,102,102（12/13）

（非缺筆例）淵：084 淵B,084 測（0/2）, 世：013,013,027,027,070（0/5）, 民：101, 治：005,043,103,014（0/4）

## 3. 加點

・句点：159例（1-45行目151, 049行目1, 062行目1（誤点か）, 068-069行目6）

・読点：8例（固有名詞の並列）及庸, 蜀, 羌, 髳, 微, 盧, 彭, 濮, 人（044-045行目）

・破音：20字種46例

[IV型] 18字種（亡才長已卑女已兩稱有當將卸克王陳責日）43例

平声7（亡：047,082,k090, 才：055,056,059,k066）

上声12（長：k016,038,044,044,051,051,k069, 已：038, 卑：k052,k086, 女：060, 已：065）

去声10（兩：037, 稱：k038, 有：042, 當：049, 將：k'056, 卸：k058, 克：058, 王：k075, 陳：k'092, 責：k099）

入声14（日：031,039,039,054,055,064,065,065,066,067,071,073,092）

[V型] 2字種（羌比）3例

平声 2 (羌 :k045,045)

去声 1 (比 :k046)

※ k 数字は經典釈文被注字箇所

<1>

001:…[謂B]暴亡[傷]…

<2>

002:在彼夏王《其視紂罪與桀同辜.言必誅之》天[其]…

003:夢〔協〕朕卜.襲于休祥.戎商…《…

004:必克之占》受有億兆夷B人.離心離德B…

005:亂B臣k十人.同心同德B《我k治理之臣(雖)少.而心得同》…

006:仁人《周至也.紂至親雖多.不若周家之少仁人》天視B自[我]…

007:聽《言天因民K以視聽.民K所k惡+者天〔誅〕之》百姓有B過.在予…

008:今朕必往.我武惟揚B.侵于之k疆B《…》

009:取彼凶〔殘〕.我伐用張.于湯有B光《…紂…

010:取之伐惡之道張設比於湯又有光明》k勗才夫子.罔B或亡\*[畏]…

011:《k'勗免也.夫子謂k將士.無敢有無畏之心.寧執非敵之志.以伐之則克矣也》百姓k麀々  
[若]…

012:《言民K畏紂之〔虐〕.危懼不安.若崩摧其角.無所容頭之\*、》烏虜乃一德B■…

013:功.惟克永世《汝同心立功.則能長世以安之也》

014:泰誓B下第三 周書

015:時B厥B明.王乃大巡六師.明誓B衆士《是其戊午明日也.師出以〔律〕.三申k令之.k重

016:難之義.衆士百夫k\*長sk以k上》王曰烏呼.我西土君子.天有B顯道厥B類B

017:惟彰《言天有明道.其義類惟明言王所宜法則》商王受.狎侮五B常.荒怠

018:弗敬《輕狎五常之教.侮慢不行.大爲怠k惰.不敬天地神明》自絕B于天.結怨于民K《不敬

019:天自絕之.酷虐民K結怨之》k斲k朝涉之k脛.k剖賢人之心《冬月見朝涉水者.謂其脛k耐  
寒.斬而

020:視之.比干忠諫.謂其心異於人.[剖]而觀之.酷虐之甚》作畏殺戮B.毒k痛四B海B《痛病也.言  
害所及遠》

021:崇信B姦回.放黜師保《回k耶也.姦耶\$也之人.反尊信之可法以安者反放退之》屏棄B典

022:刑.囚奴正士《屏棄常法而不〔復〕箕子正諫.而以爲囚奴》郊社弗\*修.宗廟弗

023:享B.作奇k伎淫巧.以B悅婦人《言紂廢至尊之敬.營卑k褻惡\$■事.作過制伎巧.以姿耳目  
之慾》

- 024: 上帝弗順. 祝降時Bk喪《祝k斷. 天k惡紂逆道. 斷絕其命. 故下是喪\$亡之誅》尔其k攷々.  
<3>
- 025: 奉予一人. 恭B行天罰《攷々勸免不怠》古人有B言曰. 撫B我則
- 026: 后. 虐我則讎《武王述古言以明\$其義言非惟今惡紂》獨夫受. 洪惟作畏. 乃
- 027: 女世讎《言獨夫失君道. 大作畏殺無辜. 乃是女累世之讎. 明不可不〔罰〕》樹德務滋. 除惡
- 028: 務本《立德務滋長. 去惡務除本. 言紂爲天下惡本》肆予小子. 誕以B尔衆士
- 029: k殄k殲乃讎《言欲行除惡之義. 絕盡紂》尔衆士. 其尚迪果忍. 以B登
- 030: 乃辟B《迪進. 殺敵爲果. 致果爲〔k毅〕. 登成. 〔之〕汝君之功》功多有B厚B賞. 弗迪有B  
顯戮B
- 031: 《賞以勸之戮以威之》烏虜惟我文考. 若日r月之照臨光于四B
- 032: 方. 顯于西土《稱父以感衆. 言其明德. 充塞四方. 明著岐周》惟我有周. 誕受多
- 033: 方《言文王德大. 故受衆方之國. 三分天下. 而有其二》予克受. 非\*予武. 惟朕文考
- 034: 亡罪B《推功於父. 言文王無罪於天下. 故天祐之. 人盡其用》受克予. 非朕文考有B罪B.
- 035: 惟予小子亡良《若紂克我. 非我父罪. 我之無善之致》
- 036: 尚書牧B誓B第四 周書
- 037: 武王戎k車三百兩q《兵車百夫k長所載也. 車稱兩. 一車步k卒七十二人. 凡二万一千〔人〕  
舉全數》虎k賁
- 038: 三百人《勇士k稱q. 若虎賁獸. 言其猛. 皆百夫\*長s已s上》與受戰B于k牧B埜. 作牧B々誓  
B.\*々
- 039: 《至牧地而誓衆》時B〔\*■〕甲子k昧爽《是克紂之月. 甲子之日r. 二月四日r. 昧冥. 爽明. 早  
旦+也》王朝至于
- 040: 商郊. 牧B\*埜乃誓B《紂近郊卅里. 地名牧. 癸亥夜k陣. 甲子朝誓. 將與紂戰》王左k杖黃\*、
- 041: k鉞. 右秉白k旄. 以Bk麾曰k逖矣. 西土之人《越以黃金饒斧. 左手杖鉞. 示無事
- 042: 於誅. 右手把旄. +示有q事於教. 逖遠. 々矣西土之人. 勞苦之也》王曰嗟. 我友邦冢君《同志  
爲友. 言志同滅
- 043: 紂也》卸事. 司徒. 司馬. 司空《治事三卿. 司徒主民K. 司馬主兵. 司空主土. 指誓戰者也》亞  
旅B
- 044: 師氏《亞次. 旅衆. 大夫其位次卿. 師氏大夫官. 以兵守門》千夫長s. 百夫長s《師k帥卒k帥》  
及庸. 蜀
- 045: k羌5p. k髡. 微. 盧. 彭. k濮. 人《八國背蠻夷戎狄. 屬文王者國名. 羌5p在西蜀k叟. 髡微在巴  
蜀. 盧彭在西北. 庸濮在
- 046: 江漢之南》稱B尔戈k\*比5q尔干立尔矛予其B誓B《稱舉戈戟干k楯》王曰古
- 047: 人有B言k牝雞亡p辰《言無晨鳴之道》牝雞之辰惟家之k索《々盡

<4>

- 048: 也喻婦人知外事雌代推鳴則家盡婦奪夫政則國亡《今商王受惟婦言是用《k 妲k 己或紂々信
- 049: 用之》昏弃厥B肆祀弗答B《昏乱肆陳. 答當q+也乱棄其所陳祭祀不k復當嚮鬼神》昏弃
- 050: 厥B遺王父母弟弗迪《王父祖之昆弟母弟同母弟言棄其骨宍不接之以道》乃惟
- 051: 四B方之多罪B逋逃是崇是長s《言紂棄其賢臣而尊長s逃亡罪人信用之》
- 052: 是信B是使B是以B爲大夫卿士《々事用爲卿大夫典政事》k卑s暴虐
- 053: 于百姓以B姦k宄于商邑《使四方罪人暴虐姦宄於都邑》今予發惟恭B
- 054: 行之罰今日r之事弗k愆B于六步七步乃止齊B焉
- 055: 《今日r戰事就敵不過六步七步乃止相齊言當旅進一心》夫子k勗才p弗愆B于四B伐五B六
- 056: 伐七伐乃止齊B焉《夫子謂k'將q士勉厲之伐謂擊k刺少則四五多則六七以爲例》勗才p夫
- 057: 子尚桓々《桓々〔我=武〕貌》如虎如k貔如熊如k羆于商郊《貔執夷虎屬四
- 058: 獸皆猛健欲使士衆法之奮擊於牧野之》弗k卸q克q奔以B役西土《商衆能奔來降者不迎擊
- 如此
- 059: 則所以k役我西土之義》勗才p夫子尔所弗勗其于尔躬有B戮B《臨敵
- 060: 所安女s不免則其於安身有戮矣》
- 061: 尚書武成第五B 周書
- 062: 武王伐殷往伐歸k獸《往誅紂克定偃武脩文歸馬\*牛. 於華山桃林之牧地也》識B其
- 063: 政事《記識殷家政教善事以爲法》作武成《武功成文事脩》武成《文王受命有此武功成於克商》
- 064: 惟一月壬辰k旁死k魄《此本說始伐紂時一月周正月旁k近也月二日r近死魄之》粵
- 065: 翌日r癸巳s王朝步自周于征伐商《翌明也步行也武王以正月三日r行自周
- 066: 往征伐商廿八日r渡孟津》厥B四B月k才p生明王來自商至于k豐《其々四月
- 067: 哉始々月生明月三日r與死魄互言》乃偃武修文《到載干戈苞以虎皮示不用行禮射設庠序脩
- 文教》歸
- 068: 馬+\*牛于k華山之陽. 放牛于桃林之埜. 示天下弗
- 069: 服《山南曰陽. 桃林在華山東. 皆非k長s養牛馬之地. 欲使自生自死. 示天下不k服乘用》丁未
- 祀于周廟
- 070: 邦甸侯衛k駿奔走執k榼k邊《四月丁\*未祭告后稷以下文考文王以k上七世之祖駿

<5>

- 071: 大邦國也甸侯衛服諸侯皆大奔走於廟執》既B生魄庶邦粵三日r庚戌柴望
- 072: 大告武成《k燔紫郊天望祀山川先祖後郊自近始》既B生魄庶邦冢君k暨B百
- 073: 工受命于周《魄生明死十五日r之後諸侯與百官受政命於周明一統》王若日烏虘
- 074: 羣后《順其祖業歎之以告諸侯也》惟先王建邦啓B土《謂后稷尊其祖故稱先王》公
- 075: 劉克篤B前B烈《后稷曾孫公爵劉名能厚先人之業》至于k大王k肇基Bk王q迹

- 076: 王季其B勤王家《大王脩德以翦齊商人始k'王業之兆迹王季續統其緒乃勤立王家之\*也》\*  
我文
- 077: 考文王克成厥B勳B誕膺天命以撫方夏《言我文德之父
- 078: 能成其k'王功大當王命以撫綏四方中下》大邦畏其B力小邦懷B其B德B《言天下諸\*侯\*大
- 079: 者畏威小者懷德是文王威德之大》惟九年大統未集《言諸侯歸之九年而卒故大業未就》予
- 080: 小子其B承厥B志《言承文王本\*意》k底商之罪B告于皇天后土
- 081: 所過名山大川《致商罪謂B伐紂之時后土社也名山華岳大川河也》曰惟有B道曾孫
- 082: 周王發將有B大正于商《告天社山川乱大正以兵征之》今商王受亡p道
- 083: 《無道德也》暴殄天物害虐Bk烝民K《暴絕天物言逆々天々害民K所以爲無道》爲天
- 084: 下逋逃主k萃淵Bk藪《逋亡也天下罪人亡逃者而紂爲k魁主k窟聚淵府藪澤言大姦也》予
- 085: 小子既B獲仁人敢B祇B承上帝以k〔邊=邊〕亂B略《仁人謂B太公周k邵之
- 086: 徒略路+也言誅紂敬承天意絕乱略》華夏蠻k貊罔B弗率k卑s恭B天成命
- 087: 《免服采章曰華大國曰夏四夷皆相率而使奉天成命》肆予東征綏厥B士女《此謂十一年會孟
- 088: 津時》惟其B士女k筐厥B玄黃昭我周王《言東國士女筐盛其絲帛奉
- 089: 迎道次明我周王k爲之除害》天休震動B用附我大邑周《天之義德B動民K心故
- 090: 用依附我》惟爾有B神尚克k相予以B濟B兆民K亡p作神羞
- 091: 《神庶幾助我庶民K免害無爲神羞辱》既B\*伐+戊午師k逾盟津癸亥k陳B于商
- 092: 郊俟B天休命《自河至朝歌出四百里五日r而至赴敵宜速待天休命謂夜雨止畢k'陳q》甲子昧
- 093: 爽受率B其B旅B若林會B于牧B楚《旅衆如林言盛多會逆距戰》罔B
- <6>
- 094: 有B敵于我師前B徒k倒戈攻于後以B北血流k漂k杵
- 095: 《紂衆服周仁政無有戰心前人自攻於後以走血流漂杵甚之言也》壹戎衣天下大定《衣服
- 096: 一k著戎服而威紂言與衆同心動有成》乃反商政々繇舊《反紂惡政用商先王善政》釋箕
- 097: 子囚封B比干墓式商容閭《皆武王所反紂政囚奴徒隸封益其土商容賢人紂所貶退
- 098: 式其閭巷以礼賢也》散鹿臺之財發臣僇之粟《紂所積之府倉也皆k散發以賑貧人》
- 099: 大k賚于四B海B而万姓悅服《施舍k已k責q救乏k調無所謂周有大賚天下皆悅仁服德也》列
- 100: 爵惟五B《即所識政事而法之爵五等公侯伯子男》分土惟三《裂地封國公侯方百里伯方七十
- 里\*+子男方〔五〕十
- 101: 里爲三品》建官惟賢《五官以官賢才》位事惟能《居位理事必任能\*士》重民〔五〕教
- 102: 《所重在民K\*人\*反五常之教》惟食喪B祭《民K以食爲命喪B礼篤親愛祭礼崇孝k養皆聖
- 王所重》惇信B明誼
- 103: 《使天下厚行信顯忠義》崇B德B報功《有德尊以爵有功報以禄》垂k拱而天下k治《言武
- 王所



104: 脩皆是所<sup>k</sup>任得人故垂拱而天下治》

(注)

- 010 「畏」: 朱筆あり。
- 012 「、」: 割注末の埋字。
- 016 「長」: 破音は左上角より若干下にあり。
- 022 「修」: 左傍書込を塗抹。
- 033 「予」: 右上角傍に朱汚あり。
- 038 「長」: 左上角に朱破音(Ⅳ型上声)及び左下角に薄い朱点の跡あり。左下角の跡は破音(Ⅲ型上声)の剥落と見なすこともできるが、誤点擦消と見なすことも可能。
- 038 「々(誓)」: 字画上に朱汚あり。
- 039 「■」: 日を塗抹するか。
- 040 「埜」: 右下角傍に墨汚あり。
- 040 「、」: 行末の埋字。
- 045 「羌」: 左上角の朱破音は經典釈文「[羌] 徐起良反説文云西戎牧羊人」及び「羌」の本音にしたがい、V型平声と見なす。
- 046 「比」: 右下角の朱破音は經典釈文「[比] 徐扶志毗志二反」にしたがい、V型去声と見なす。
- 062 「牛」: 句点は誤点か。
- 068 「牛」: 墨筆「牝」を朱筆で「牛」とする。
- 070 「未」: 右傍に繊維の塊あり。
- 076 「也」「我」: 「也」右上及び「我」左上角に朱汚あり。
- 078 「侯」「大」: 「侯」左下角及び「大」左上角に朱汚あり。
- 080 「意」: 字画左に朱汚あり。
- 091 「伐+戊」: 「伐」は「戊」の誤り。
- 100 「子」: 書写時の補入か。
- 101 「士」: 右下に墨筆「士」を朱筆「事」で上書した跡あり。
- 102 「人」「反」: 「人」は衍入, 「反」は「及」の誤り。

## 【S.801】尚書卷第2 大禹謨後半「(女終) 陟元后」至篇末孔伝「二千五百里」

### 1. 書誌

内題・尾題欠。IDP 画像無し。黄楮紙。紙背不明。3紙(32行)。一紙16行。行15-16字。27.5糎×39.2糎。薄墨界。8世紀初中期写。本文には古体字が多く用いられる(31字種54例)。缺筆は民(全7例), 治は缺筆されない。朱筆を墨筆でなぞった補入・本文訂正あり。加点は

朱点（星点）による句点，読点（注釈構文の並列及び句切），破音（IV型）がある。2007年8月25日・26日調査。S.5745（巻第2大禹謨前半）と僚巻か。

## 2. 本文

・古体字：31字種54例

厥：002，稽：003,011，謀：003，罔：005，慎：006，其：006,021，四：006，海：006，困：006，好：008，禹：009,010,011,014,015,023,029，從：009，龜：010,011，率：013,014，時：014,024，會：015，誓：016,016，濟：016,016,017,017，有：016,017,021，蠢：017，恭：017，德：018,023,031，以：020，罪：020,026，勳：021，益：022，贊：022，動：023，謙：024,024，引：027，齋：027，慄：027，矧：029

・缺筆7：1字種7例

民：005,005,007,015,019,019,021（7/7）（重書004を除く）

（非缺筆例）治：001

## 3. 加點

・句点：90例

・読点：5例（注釈構文の並列と句切）001,015,021,023,031

・破音：IV型11字種（亡才號齋女固爲見易數日）17例

平声6（亡：003,011,023，才：006，號：k025，齋：k027）

上声3（女：012,015,021）

去声4（固：011，爲：026，見：028，易：k029）

入声4（數：k015，日：022,025,026）

※ k 数字は經典釈文被注字箇所

<1>

001: 陟元后《k丕大也歷數謂天道.元大,大君天子也舜善禹有治水\*〔之=大〕功.言天道在汝+\*{身汝}終當升爲天子》（人心惟危）

002: 道心惟微.惟精惟一.允執厥B中《[危]則難安微[則]難明.故誠以精

003: 一.信執其中》亡p稽B之言勿k聽.弗詢之謀B勿庸《無考無信驗也不詢

004: 專獨也終必無成.故戒勿聽用\$\*之》可愛非〔君=臣〕.可畏非〔君=民〕.衆非元后

005: 何戴.后非衆.罔B與守邦《民K以爲君命.故可愛.君失道民K叛之.故可畏.言衆+\*{戴君以自存君恃衆}以守國

006: 相須而立》欽才p慎B乃有位.敬修其B可願四B海B困B窮.

007: 天祿永終《有位天子位也可願謂道德之美困窮謂天民K之無告者.言爲天子.勤此三者.則天之祿籍.長終+\*汝

008: 身也》惟口k出k好B興戎朕言弗再《好謂賞善.戎謂伐惡.言口榮辱之主.慮而宣之.成於

- 009: 一》禹B曰k枚卜功臣.惟吉之從B《枚謂歷卜之.而從其吉也此禹讓之#\*至(志)》帝
- 010: 曰禹B+\*官占惟先k弊志.昆命于元龜B《帝王立卜占之官.故曰官占弊
- 011:k斷+\*{昆後}也官占之法.先斷人志.後命於元龜.言志定然後卜》+{朕志先定詢謀k僉同鬼神其依龜B筮叶從卜不習吉《習因也言已謀之於心謀及卜筮四者合從卜不因吉無所枚卜》}禹B拜稽B首固q詞《再辭曰固》帝曰亡p.
- 012: 惟女s諧《\*言無所以k禁其辭也禹有大功德.故能諧和元后之任》k\*正月朔旦.受
- 013: 命于神宗《受舜終事之命.神宗文祖之宗廟.言神尊之》率B百官.若帝
- 014: 之初《順舜初攝帝故事奉行之》帝曰咨禹B.惟時B有苗弗率B
- 015: 女s\*〔阻=祖〕征《三苗之民K.k數r于王誅率循也徂往.不循帝道.言亂逆也命禹討之也》禹B乃會B群
- <2>
- 016: 后.誓于師.曰k濟B濟B有B衆.咸聽朕命《會諸侯共伐有苗也
- 017: 軍旅曰誓.濟B濟B衆盛之貌》k蠢B茲有B苗.昏迷弗恭B《蠢動也昏闇也言其所以宜討》
- 018: k侮k嫚自賢.反道敗德B《狎侮先王.輕慢典教.反正道.+傷敗德義也》君子在
- 019: 桀.\*小人在位《廢仁\*賢任紆佞》民K弃弗保.天降之k咎《言民K
- 020: 叛之.天災之》肆予以B尔衆士.奉詞伐罪B《肆故也辭謂不恭.罪謂侮慢以下事》
- 021: 尔尚一乃心力.其B克有B勳B《尚庶幾.一女s.心力.以從我命》三苗苗\*民K
- 022: 逆命《旬十日r.以師臨之.一月不服.責舜不先有文k告之命.威讓之辭.而便k憚之以\$\*兵/威k\$所/脅之以兵.所以生辭》益B贊B于
- 023: 禹B曰.惟德B動B天.亡p遠弗k屆《贊佐.屆至也益以此義佐禹.欲其修德以
- 024: 致遠》滿招\*損.謙B受益.時B乃天道《自滿者人損之.自謙B者人益之.是天道之常》
- 025: 帝初耕于歷山.往于k田.日rk號p泣于k旻天.于
- 026: 父母《仁覆愍下.謂之旻天.言舜初耕于歷山之時.爲q天母所疾.日r號p泣於旻天.及父母.克己自責.不責〔池=於〕人》負罪B
- 027: 引Bk慝祇載k見k瞽k瞍k夔々k齋Bp慄B瞽.亦允若
- 028: 《慝惡也載事也夔夔悚懼之貌.言舜負罪引惡.敬以事.見q於父.悚懼齋莊.父亦信順之言能以至k成感頑父》至誠感神.
- 029: k矧B茲有苗《誠和也矧況也至和感神況有苗乎言k易q感》禹B拜昌言曰兪班
- 030: 師振旅《昌k當也以益言爲當故拜受而然之遂k還師兵入曰振旅.言整衆也》帝乃k誕敷B
- 031: 文德B《遠人不服大布文德以來之》舞B干羽于兩k階《干k楯也羽k翳.皆舞者所執.修k闡+\*{文教舞文舞于賓主階間抑}武
- <3>
- 032: …《…[服]不討自來明御之必有道也三苗之國左…荒服之例去京師二千五百里》

（注）

- 001 「之=大」：墨書「之」を朱書「大」で補訂。  
 001 「身汝」：朱書を墨書がなぞる。  
 004 「之」：朱書塗消。  
 005 「戴君以自存君恃衆」：朱書を墨書がなぞる。  
 007 「汝」：朱書を墨書がなぞる。  
 009 「至」：「志」の誤写。  
 010 「官」：朱書を墨書がなぞる。  
 011 「昆後」：朱書を墨書がなぞる。  
 012 「言」：下方に墨汚あり。  
 012 「正」：右下角に朱点あり。  
 015 「阻=徂」：朱筆で補訂した部首を墨書がなぞる。  
 019 「小」：字画右下横に朱汚あり。  
 019 「賢」：字画内に朱点あり。  
 021 「民」：左上角に朱汚あり。  
 022 「兵所」：朱見消にし右傍に朱筆「威脅」。  
 024 「損」：句点は朱点の上に墨点か。  
 031 「文教舞文舞于賓主階間抑」，朱書を墨書がなぞる。

## [S.2074] 尚書卷第 10 蔡仲之命冒頭「降霍叔于庶」至立政後半「不敢替」

### 1. 書誌

内題「尚書多方第廿 周書 孔氏傳」(031), 「尚書立政第廿一 周書 孔氏傳」(120)。尾題無し。IDP 画像無し。黄楮紙。紙背洋紙裏打。10 紙(165 行)。一紙 18 行。一行 16 字。27.5 糎×40.5 糎。薄墨界。8 世紀初中期写。本文には古体字が多く用いられる(60 字種 199 例)。缺筆は世(全 4 例), 民(全 49 例), 治(字体の確認できる全 5 例)に見られる。加点は朱点(小ゴマ点)による句点, 読点(名詞句並列表示, 注釈構文表示), 破音(IV 型を中心に I 型が少数混じる)がある。卷第 10 は他に S.5626・S.6259(僚卷)があり, 比較できる。2007 年 9 月 26 日 -28 日調査。

### 2. 本文

・古体字：60 字種 199 例

徳 :006,013,060,080,097,105,130,134,136,136,142,144,144,146,161, 慎 :006,016,059,060,162,164,  
 愆 :009, 亂 :015,020,046,046, 其 :016,028,092,093,095,108,141,142,143, 厥 :016,017,017,022,041,044  
 ,059,059,069,072,072,078,131,142,144,146,160, 終 :017,017,043, 以 :017,017,018,019,022,053,058,06  
 0,064,067,077,105,150,161, 困 :017,017, 懋 :018, 攸 :018,044,162, 鄰 :018, 和 :019,102,102,103,118,

濟 :020, 視 :022, 罔 :022,038,047,060,073,076,079,101,162,164, 側 :022, 度 :022, 夷 :026,159, 遂 :026, 既 :027, 遷 :028, 其 :028,092,093,095,108,141,142,143, 五 :035,075,099, 國 :037,083, 圖 :039,044,068,069,072,091, 有 :041,046,052,066,067,068,069,070,095,096,098,101,108,110,128,12 8139,139,147,149,149,161,163, 聞 :044, 靈 :047,079, 旅 :047,079,158, 恭 :048,054, 憤 :049, 割 :049, 時 :050,070,073,092,093,106,117, 享 :053,055,064,070,086,112,112, 簡 :058,082,109, 罪 :062, 辟 :064,067, 辭 :068, 逸 :072,072,145, 動 :077, 堪 :079,080, 敢 :083,131,164,166, 四 :083,142, 裕 :084, 熙 :088, 播 :090, 戰 :093, 暨 :098, 忌 :105, 穆 :105, 謀 :106,134, 洛 :106, 稽 :123,131, 嗣 :123, 手 :131, 訓 :134,164, 啓 :144, 奄 :147, 長 :151 (初例出現順)

・ 缺筆 : 3 字種 (民世治) 58 例

世 :011,013,025,137 (4/4)

民 :014,020,021,021,028,038,039,042,042,042,045,045,046,047,048,048,048,049,049,049,050,051,053, 054,055,055,056,057,057,058,059,059,059,075,076,080,083,084,088,100,112,113,133,135,135,151,151, 159,165 (49/49)

治 :015,016,048,086,152 (5/7) (虫損で字体確認できない 017,148 の 2 例を除く)

### 3. 加点

・ 句点 : 489 例

・ 読点 : 49 例 (誤点 1 例 (014) を除く 48 例)

(名詞句並列表示) 38 例 : 024,025,029,035,036,037,042,084,084,084,125,125,153,153,153,156,156,1 57,157,158,159,159,159,159,162,162,162

(注釈構文表示) 20 例 : 039,041,045,072,086,094,094,094,100,126,126,126,126,133,133,144,152,1 53,155,157

・ 破音

[IV型] 24 字種 (要還靜才女已重昇長解趣從行相喪間遠王見爲別日邑) 44 例

平声 5 (要 :k062, 還 :077, 靜 :089, 才 :102,103)

上声 20 (女 :025,044,058, 已 :028,052,096,164,165, 重 :k046, 昇 :k052, 長 :k101,107,k'151,k'153,k'15 5,k'157,k'160, 解 :118, 趣 :k153,153)

去声 14 (從 :028, 行 :k043,k130,130, 相 :k061, 喪 :070,073, 間 :k070, 昇 :108, 遠 :116, 王 :k138,k'148, 見 :k'143, 爲 :k145)

入声 4 (別 :k037, 日 :043,043, 邑 :049, 害 :087)

[I型] 3 字種 (王耿見) 4 例

王 052, 耿 k138, 見 k142,k149

※ k 数字は經典釈文被注字箇所。

<1>

- 001: 降霍叔于庶…《…》  
 002: 子孫爲晉所滅也《蔡仲克…》  
 003: 《蔡仲字也能用敬德…誅父用子.言至公.周公k[圻]…》…  
 004: 命諸王邦之蔡《叔…[之]…》  
 005: 名新國欲其戒之也《王若曰小子胡《…》》  
 006: 惟尔率德Bk改行克慎B…《…》  
 007: 歎其賢《肆予命尔侯于[東]…》  
 008: 《以女率德改行之故々我命女（爲諸侯）於東土往就女所封國當脩已（以敬哉）…》  
 009: 之愆B惟忠惟孝《女當庶…子能蓋…》  
 010: 尔乃邁迹自身.克勤[亡]…  
 011: 《女乃行善迹用女身使可縱迹而法…怠以垂法子孫世K々稱頌乃當我（意）…》  
 012: 文王之彝訓.亡若尔考之…《…》  
 013: 爲世K戒也《皇天亡親.惟德B之輔…》  
 014: 懷《天之於人無有親疏惟有德者[則]…民K心於上無有常主惟愛己者…》…  
 015: 同々歸于k治K爲惡弗同々歸于亂B《言人爲（善爲）惡各有（百）》  
 016: 端未必正同治K亂.所歸不殊宜慎其微也《尔其B戒才.慎B厥B初.[惟]

<2>

- 017: 厥B終B.々以B弗困B.弗惟厥B終B.々以B困B窮《女戒[治]乱之機》  
 018: 哉.作事云爲必慎其初.念其終.用不困窮也《k懋B乃攸B績.睦乃四鄰B以B》  
 019: k蕃王室.以B和B兄弟《免女所立之功.親女四鄰之國.以k'蕃屏王室.以和協同姓》  
 020: 之邦.諸侯之道也《康濟B小民K.率自中.亡作聰明亂B》  
 021: 舊章《女爲政.當安小民K之居.成小民K之業.脩用大中之道.無爲小聰明作異辯.以變亂舊典文章》  
 022: 詳乃視B聽.罔B以B側B言改厥Bk度B.則予一人女  
 023: 嘉《詳審視聽.非\*義&礼.勿視聽也無以耶巧之言.易其常k'度.必k斷之以義也則我一人.善女矣》  
 024: 王曰烏虜小子胡.女往才亡荒弃朕命《歎而》  
 025: 勅之.欲其念戒也小子胡.女s往之國哉.無廢弃我命.欲其終身奉行.後世K遵則也《成王》  
 026: 東伐淮夷B.遂Bk踐奄《成王即政.奄國又畔.王親征之.遂滅奄而徙之.以其k數》  
 027: 反k覆《作成王k政《爲平淮夷從奄之政令也.亡》成王既B踐奄.》  
 028: 將遷B其B君k蒲姑《已s滅而從q其君及民K臣之惡者於蒲々姑.々齊地也近k中國》  
 029: 教化《周公告召公.作.將蒲姑《言將徙奄.新立之君於蒲姑.告召公使

030: 爲此策書. 告令之. 亡也》

031: 尚書多方第廿 周書 孔氏傳

032: 成王歸自奄 《伐奄歸也》 在宗周誥庶邦 《告以禍福》

033: 作多方

034: 多方 《衆方天下諸侯之也》

<3>

035: 惟五 B 月丁亥王來自奄. 至于宗周 《周公歸政之明年. 淮夷,

036: 奄, 又畔魯征淮夷作 k 桀誓王親征奄. 滅其國. 五月還至 k 鎬京也》 周公曰王若曰

037: 繇告尔四國 B 多方 《周公以王命. 順大道. 告四方. 稱周公, 以 k 別 r 王自告也》 惟尔

038: 殷侯尹民 K 我惟大降尔命. 尔罔 B 弗知 《殷之諸侯

039: 王民 K 者. 我大下女命. 謂誅紂也言天下無不知紂暴虐取亡也》 洪惟圖 B 天之命. 弗

040: 永寅念于祀. 惟帝降格于夏 《大惟爲王謀天之命. 不長敬念

041: 祭祀. 謂夏桀也惟天下至戒於夏. 以 k 譴告. 謂災異也》 有 B 夏誕厥 B 逸. 弗肯感

042: 言于民 K 《有夏桀. 不畏天戒. 而大其逸豫. 不肯憂言於民 K. 無憂民 K 之言也》 乃大淫昏. 弗

043: 克終 B 日 r 勸于帝之 k 迪 《言桀乃大爲過昏之 k 行 q. 不能終日 r 勸於天下之道》

044: 乃尔攸 B 聞 B 《言桀之惡. 乃女 s 所聞》 厥 B 圖 B 帝之命. 弗克開

045: 于民 K 之 k 麗 《桀其謀天之命. 不能開於民 K 之所施政教. 麗, 施言昏昧也》 乃大降

046: 罰. 崇亂 B 有 B 夏. 因甲于內亂 B 《桀乃大下罰於民 K. k 重 s 亂有夏. 言殘虐也外

047: 不憂民 K. 內不勤德. 甲於二亂之內. 言昏甚也》 弗克靈 B 承于旅 B. 罔 B 丕惟進

048: 恭 B. 洪舒于民 K 《言桀不能善奉於民 K 衆. 無大惟進恭德. 而大舒墮於治 K 民 K 也》 亦惟

049: 有 B 夏之民 K. 叨 k 愨 B 日欽. k 剗割 B 夏邑 r 《桀洪舒於民 K. 故亦惟有夏之民 K.

050: 貪饕忿愨而逆命. 於是桀日尊敬其能剗割夏邑者. 謂殘賊臣也》 天惟時 B 求民 K 主. 乃

051: 大降顯休命于成湯 《天惟是桀惡. 故更求民 K 主以代之大下明美之命於成

052: 湯. 使王 c 天下也》 刑殄有 B 夏. 惟天弗 k\* 昇 s 純 《命湯刑絕有夏. 惟天不與桀. 亦已 s

<4>

053: 大也》 乃惟以 B 尔多方之誼民 K. 弗克永于多享 B 《天所

054: 以不與桀. 以其惟用女衆方之義民 K. 臣而不能長於多享國故也》 惟夏之恭 B 多士.

055: 大弗克明. 保享 B 于民 K 《惟桀之所謂恭人衆士. 大不能明安享於民 K. 言亂主所任. 々同己》

056: 乃胥惟虐于民 K. 至于百. 爲大弗克開 《桀之衆士. 乃相

057: 与惟暴虐於民 K. 至於百端所爲. 言虐非一也大不能開民 K 以善. 言與桀合志也》 乃惟成湯.

058: 克以 B 尔多方. 簡 B\* 代夏. 作民 K 主 《乃惟成湯. 能用女 s 衆方之賢. 大代

059: 夏政. 爲天下民 K 主也》 慎 B 厥 B 麗. 乃勸厥 B 民 K 刑用勸 《湯慎其施政於民 K.

060: 々乃勸善. 其雖刑. 亦用勸善. 言政刑清也》 以 B 至于帝乙. 罔 B 弗明德 B 慎 B

- 061: 罰. 亦克用勸 《言自湯以至於帝乙. 皆能成其王道. 畏慎輔 k 相 q. 無不明有德. k 慎去 +\* 刑罰. 亦能用勸
- 062: 善者》k 要 p 囚 k 殄戮多罪 B. 亦克用勸. 開釋亡辜. 亦
- 063: 克用勸 《帝乙以 k 上. k' 要察囚情. 絕戮衆罪. 亦能用勸善. 開放無罪之人. 必無枉縱. 亦能用勸善》
- 064: 今至于尔 k 辟 B. 弗克以 B 尔多方. 享 B 天之命 《今至于女
- 065: 君. 謂紂. 不能用衆方享天之命. 故誅滅也》烏虜王若曰. 誥尔多方.
- 066: 非天庸釋有 B 夏 《歎而順其事. 以告女衆方. 非天用釋棄桀々縱惡自弃. 故誅放也》
- 067: 非天庸釋有 B. 殷乃惟尔辟 B. 以 B 尔多方. 大淫
- 068: 圖 B 天之命. 屑有 B 辭 B 《非天用弃有殷紂也. 乃惟女君紂. 用女衆方. 大爲過惡者. 共謀
- 069: 天之命. 惡事盡有辭說. 布在天下. 故見誅滅也》乃惟有 B 夏. 圖 B 厥 B 政. 弗
- 070: 揖于享 B. 天降時 B 喪 q. 有 B 邦 k 間 q 之 《更說桀也. 言桀謀其政不
- <5>
- 071: 成於 +\* 享故. 天下是喪亡以禍之. 使天下有國聖人代之言有國. 明皇天無親. 佑有德之》乃惟尔商後
- 072: 王. 逸厥 B 逸 B 《後王. 紂也. 逸豫其 \* 過. 逸 B. 言縱恣無度也》圖 B 厥 B 政. 弗 k 鑄 k 烝.
- 073: 天惟降時 B 喪 q 《紂謀其政. 不絜進於善. 故天惟下其喪亡. 謂誅滅之也》惟聖罔 B 念
- 074: 作狂. 惟狂克念作聖 《惟聖人無念於善. 則爲狂人. 惟狂人能念善. 則爲聖人. 言桀紂非實
- 075: 狂愚. 以不念善. 故滅亡之也》天惟五 B 年. 須暇之子孫. 誕作民 K 主.
- 076: 罔 B 可念聽 《天以湯故. 五年須暇湯之子孫. 冀其改悔. 而紂大爲民 K 主. 肆行無道. 事無可念. 言無可
- 077: 聽. 武正服喪三年. 還 p 師二年也》天惟求尔多方. 大動 B 以 B 畏. 開
- 078: 厥 B 顧天 《天惟求女衆方之賢者. 大〔勤=動〕紂以威. 開其能顧天. 可以代者也》惟尔多
- 079: 方. 罔 B 堪 B 顧之. 惟我周王. 靈 B 承于旅 B 《惟女衆方之中. 無堪
- 080: 顧天之道者. 惟我周王. 善奉于衆. 言以仁政. 得民 K 心者也》\* 克堪 B 用德 B. 惟典神
- 081: 天 《言周文武. 能堪用德. 惟可以主神天之祀. k 任天王也》天惟式教我用休.
- 082: 簡 B k 昇殷命. 尹尔多方 《天以我用德之故惟用教我用美道. 伐殷. 大與我殷之王命. 以
- 083: 正女衆方諸侯》今我害敢 B 多誥. 我惟大降尔四 B 國 B 民 K
- 084: 命 《今我何敢多誥女而已. 我惟大下女四國民 K 命. 謂誅管. 蔡. 商. 奄之君也》尔害弗忱裕 B
- 085: 之于尔多方 《女何不誠行. 寬裕 B 之道於女衆方. 欲其戒四國. 崇和協之也》尔害
- 086: 弗 k 夾介父我周王享 B 天之命 《k' 夾. 近也女何不近大見治 K 於我周王. 以享
- 087: 天之命. 而爲不安乎》今尔尚宅尔宅. 畋尔佃. 尔害 r 弗惠
- 088: 王. 熙 B 天之命 《今女殷之諸侯. 皆尚得居女常居. 臣民 K 皆尚得畋女故田女何不順從王政. 廣天



<6>

- 089: 之命. 而自懷疑乎. 尔乃迪婁弗靜p. 尔心未愛《女所蹈行.k 數爲不安女心  
090: 未愛我\* 同故也》尔乃弗大宅天命. 尔乃屑播B 天命《女乃  
091: 不大居安天命. 是女乃盡播弃天命也》尔乃自作弗典圖B 忱于正  
092: 《女未愛我周. 播弃天命. 是女乃\* 自爲不常. 謀信於正道也》我惟時B. 其B 教告之.  
093: 我惟時B. 其B 戰Bk 要囚之《我惟女如是不謀信於正. 故其教告之. 謂k 訊以文誥也  
094: 其戰要囚之. 謂討其k 倡亂. 執其朋黨》至于再. 至于三《再. 謂三監. 淮夷畔時也. 三謂成王  
095: 即政. 又叛也. 言迪婁不靜之事》乃有B 弗用我降尔命. 我乃其B 大  
096: 罰k 極之《我教告戰囚女. 已s 至再三. 女其有不用我命. 我乃下誅女君. 乃其大罰誅之也》非  
我有B  
097: 周秉德B 弗康. 乃唯尔自速辜《非我有周執德不安寧. 自誅女也  
098: 惟女自召罪. 以取誅之》王曰. 烏虜繇. 告尔有B 方多士. 暨B 殷  
099: 多士《王歎而以道. 告衆方. 與殷多士也》今尔奔走. 臣我. 監五B 祀  
100: 《監. 謂成周之監也此指謂所遷頑民K. 殷衆士也. 今女奔來徒臣我. 監五年無過則得還本土也》  
101: 越惟有B 胥柏. 小大多正. 尔罔B 弗克k 臬《於惟有相k 長s 事.  
102: 小大衆正官之人. 女無不能用法. 欲其皆用法也》自作弗和B. 尔惟和B 才p. 尔室  
103: 弗睦. 尔惟和B 才p. 尔邑克明. 尔惟克勤. 乃事  
104: 《小大多正. 自爲不和. 女有方多士. 當和之哉. 女親近室家不睦. 女亦當和之. 女\* 邑. 中能  
明. 是女惟能勤女職事者也》  
105: 尚弗忌B 于凶德B. 亦則以B 穆B 々. 在乃位《女庶幾不自忌. 入於  
106: 凶德. 亦則用敬々. 常在女位》克k 闕于乃邑. 謀B 介. 尔乃自時B 洛B

<7>

- 107: 邑. 尚永力畋尔田《女能使我闕具於邑. 而以女所謀爲大. 則女乃用是洛邑. 庶幾長s 力畋女田矣  
108: 言遷徙而以脩善. 得反邑里》天惟昇q 矜尔. 我有B 周. 惟其B 大介  
109: 賚尔《女能脩善. 天惟其大與女憐女我有周惟其大々 賜女. 言受多福之祚者也》迪簡B  
110: 在王庭. 尚尔事. 有B 服在大僚《非但受憐賜. 又乃蹈大道. 在王  
111: 庭. 庶幾脩女事. 有所服行. 在大官也》王曰烏虜多士. 尔弗克勸忱  
112: 我命. 尔亦則惟弗克享B. 凡民K 惟曰弗享B《王歎而言  
113: 曰衆士. 女不能勸信我命. 女\$\* 尔則惟不能享天祚矣. 凡民K 亦惟曰不享. 於女祚矣》尔乃惟逸  
114: 惟k 頗. 大遠王命. 則惟尔多方.k 探天之畏. 我  
115: 則致天之罰.\* 離遠尔土《若尔乃爲逸豫頗k 僻. 大弃王命. 則惟女衆方. 取天  
116: 之威. 則我致行天罰. 離遠q 女土. 將遠徙之也》王曰我弗惟多誥. 我惟  
117: 祇告尔命《我不惟多誥女而已. 惟敬告女吉凶之命》又曰時B 惟尔初. 弗

- 118: 克敬于和B.則亡我怨《又誥女.是惟女初.不能敬於和道.故誅女無我怨也.解s所  
119: 以再三加誅之意也》
- 120: 尚書立政第廿一 周書 孔氏傳
- 121: 周公作立政《周公既致政成王.恐其怠忽.故以君臣立政爲戒也》
- 122: 立政《言用臣.當共立政.以名篇》
- 123: 周公若曰拜手稽B首.告嗣B天子王矣《順古道.k盡禮致  
124: 敬.告成王.言嗣天子.今已爲王矣.不可不慎也》用咸戒于王曰.左右常  
<8>
- 125: 柏常k任.k準人.k綴衣.虎k賁《周公用王所立政之事.皆戒於王曰.常所k'長事.常  
126: 所委任.謂三公.六卿也.準人.平法.謂士官也.綴衣.掌衣服.虎賁.以武力事王.皆左右近  
臣.宜得其人也》
- 127: 周公曰烏虜休\*茲知恤k鮮才《歎此五者.立政之本.知憂得其人者少》
- 128: 古之人迪.惟有B夏.乃有B室大競.k籲峻尊上帝
- 129: 《古之人道.惟有夏禹之時.乃有卿大夫室家大彊.猶乃招呼賢儁.與共尊事上天也》迪知k忱.  
130: k拘于九德B之k行q《禹之臣.蹈知誠信.於九德之行q.謂賢智大臣也.九德咎繇所謨也》
- 131: 乃敢B告教厥B后曰.拜\*手B稽B首后矣.曰宅乃  
132: 事.宅乃牧.宅乃準.茲惟后矣《知九德之臣.乃敢告教其君.以立政  
133: 也君矣.亦猶王矣.宅,\*居.女事六卿掌事者也牧々民K.九州伯也.居內外官.及平法者皆得其  
人.則此惟君矣》
- 134: 謀B面用丕訓B德B.則乃宅人.茲乃三宅.亡誼  
135: 民K《謀所面見之事.無疑則能用大慎德.乃能居賢人於官.若此則乃能三居無義民K.大罪\*  
之&宥四裔.次九州之  
136: 〔內=外〕次中國之外也》桀德B惟乃弗作往任.是惟暴德B罔B  
137: 後《桀之爲德.惟乃不爲其先王之法往所委任.是惟暴德之人.故絕世K無後也》亦越成湯.  
138: 陟丕k釐上帝之k\*耿c命《桀之昏亂.亦於成湯之道.得升大賜.上天之光命.k\*王q天下》  
139: 乃用三有B宅.克即宅.曰三+有B峻.克即峻《言湯乃用三有居惡  
140: 人之法.能使就其居.言服罪也.又曰能用剛柔正直三德之儁.能就其儁事.言明德》嚴惟丕  
式.克  
141: 用三宅三峻《言湯所以能嚴威.惟可大法象者.以能用三居三德之法也》其B在商  
142: 邑.用協于厥B邑.其B在四B方.用丕式k見c德B《湯在  
<9>
- 143: 商邑.用三宅三儁之道.和其邑.其在四方.用是大法k'見q其聖德.言逮近化之》烏虜其B在k受  
144: 德B.k啓B惟羞刑暴德B之同于厥B邦《受德.紂字也.帝乙愛焉.

- 145:k爲qk作善字.而反大惡.自k強惟進用刑.與暴德之人.同於其國.竝爲威虐也》乃惟庶習逸B  
146:德B之同于厥B政《乃惟習爲過德之人.同於其政.言不任賢也》帝欽罰  
147:之.乃k伴我有B夏.式商受命.奄B甸万姓《天以紂惡.故敬  
148:罰之.乃使我周家.k\*王q有華夏.得用商所受天命同[治]萬姓言皇天親有德[也]》[亦][越]  
文王  
149:武王.克知三有B宅心.焯k'見c三有B峻心《紂之不善.亦於文武  
150:道.大行以能知三有居惡人灼然k'見三有賢僞之心者也》以B敬事上帝.立  
151:民Kk'長B柏《言文武知三宅三僞.以故能敬事上天立民K正k'長s.謂郊祀天.建諸侯也》立  
政常  
152:任準人.牧作三事《文武亦法禹湯.以立政.常任準人[\*乃=及]牧治K.爲天地人三事》虎  
153:賁.綴衣.k趣s馬,小尹《趣s馬,掌馬之官.言此三者雖卑.官k'長s必慎擇其人也》左  
154:右攜僕.百司庶府《雖左右攜持器物之僕.及百官有主k券k契k藏吏.亦皆擇人  
155:者也》大都小柏.藝人表臣.百司《小臣.猶皆慎擇人.況大都邑之小k'長s.以  
156:道藝爲表幹之臣.及百官有司之身.可以非其任乎》太史,尹柏,庶常吉士  
157:《大史下大夫.掌邦六典之貳.尹伯,k'長s官大夫也及衆掌常事之善士.皆得其人者也》司徒,  
司馬,  
158:司空,亞旅B《此有三卿.及次卿.衆大夫.則是文武未伐紂時也.舉文武之初.以爲法則者也》  
159:夷B,微,盧,蒸,三亳,k阪尹《蠻夷微盧之衆師.及亳民K之歸文王者.三[可=所]爲之  
160:立監.及阪地之尹k'長s.皆用賢也》文王惟克厥B宅心.乃克立茲  
<10>  
161:常事牧人.以B克峻有B德B《文王惟其居心.k遠惡舉善.乃能立此常事.司牧  
162:人.用能僞有德》文王罔B攸B兼于庶言,庶獄,庶慎B,  
163:惟有B司之牧夫《文王無所兼知於毀k譽衆言.及衆刑獄衆所當慎之事.\*慎&惟擇有司牧夫而  
164:已s.勞於求才.逸於任之也》是訓B用章.庶獄庶慎B.文王罔B敢B  
165:知于茲《是萬民K順法用違法.衆獄衆慎之事.文王壹無敢自知於此.委任賢能而已s也》亦越  
166:武王.率惟k救功.弗敢B[替]…

(注)

- 023 「義礼」, 墨書転倒符あり。  
052 「昇」, 「卑」の如き字体に作る。以下同じ。  
058 「代」, 「伐」の最終画を朱書で削除。  
061 「刑」, 朱書補入。  
071 「享」, 朱書補入。

- 072 「過」, 句点は誤点か。  
080 「克」, 右下に朱汚あり。  
090 「同」, 「周」の誤写。  
092 「自」, 左上角の朱線あり。  
014 「邑」, 読点は誤点か。  
113 「尔」, 朱書見消。  
115 「離」, 「禹+佳」に作る。  
127 「茲」, 左右に朱汚あり。  
131 「手」, 「首+手」に作る。  
133 「居」, 朱読点を消すか。  
135 「之宥」, 朱書転倒符。  
138 「耿」, 字画上辺中央に濃朱で破音。  
138 「王」, 破音は字画右辺中央にあり。  
148 「王」, 破音は字画右辺中央にあり。  
152 「乃=及」, 「乃」に朱書で最終画を加え「及」に訂正。  
163 「慎惟」, 墨書転倒符あり。

## 【S.5626】尚書卷第10 蔡仲之命冒頭部上半分（S.6259と僚卷）

### 1. 書誌

内題無し。IDP画像無し。楮紙（表面絹張り）。紙背願文（9世紀後期頃写、ペン書、朱鉤科段、朱句切あり）。蔡仲之命冒頭部上半のみ存し、下半と後半はS.6259に繋がる。残一紙16行。一行17字（推定）。（上半）16.0糎×38.0糎。無界。本文には古体字（辟・徳）、仮借字（哉→才）を用いず、缺筆も無い（治）。加点はやや大きな朱点（星点）による句点、読点（通常の句切）、破音（IV型、経典釈文被注字と合致）がある。本文及び加点の状態から見て、書写年代は8世紀前期以降8世紀中後期まで降るか。2007年9月28日調査。

### 2. 本文

- ・古体字（辟・徳）、仮借字（哉→才）を用いない。
- ・缺筆なし（世・民は用例無し、治は缺筆せず）。

### 3. 加點

- ・句点：31例
- ・読点：1例（通常の読点か）叔卒, 乃命諸（007）
- ・破音：IV型5字種（已乗従行辟）7例  
上声1（已:008）

去声 5 (乗 :k004,004, 從 :k004, 行 :k'010,k'011)

入声 1 (辟 :k003)

※ k 数字は經典釈文被注字箇所

- 001: 《成王也. 父卒命子. 罪不相及》作蔡[仲][之]命《…》…《…》  
 002: 名篇《惟周公位冢宰. 正百[工]》《…》…  
 003: 言. 乃致 k 辟 r 管叔于商. 囚…  
 004: k 乘 q 《致法謂誅殺.# 因 (囚) 謂制其出[入]…國之外地名. k 從 q 車七乘 q 言少. 管…》…  
 005: 人. 三年不齒《罪輕故退爲衆…録封爲霍侯. 子…》…  
 006: 庸祗德. 周公以爲卿士《…》  
 007: 公也. 周 k 圻内諸侯. 貳卿治事也《叔卒. 乃命諸…》《…》  
 008: 所封. 淮汝之間. k' 圻内之蔡名已 s[滅] 故取其名. 以名新國. 欲其戒《…》…《…》  
 009: 教訓. 胡仲名. 順其事而告之《惟尔率德…》《…》  
 010: 之德. 改父之 k' 行 q. 能慎其道. 歎其賢《肆予命尔…》  
 011: 敬哉《以汝率德改 k' 行 q 之故. 々我…於東土. 往就汝所封國. 當\*修己[以]…》…  
 012: 人之愆. 惟忠惟孝《汝當\*庶幾[脩]…子能 (蓋)\*父. 所…》  
 013: 尔乃邁迹自身.[克]…《…》  
 014: 行善迹用汝身. 使可[縱]…勤無懈怠. 以垂法子[孫]…《…》  
 015: 之彝訓. 無…《…》  
 016: 我…《[皇][天]…》

(注)

011 「修己[以]…」・012 「庶幾[脩]」・012 「父所」, 012 「子能」左傍に天地逆に貼付。

## 【S.6259】尚書卷第 10 蔡仲之命冒頭部下半至多方冒頭 (S.5626 と僚卷)

### 1. 書誌

内題「多方第二十」(020)。楮紙(表面絹張り)。紙背願文(9世紀後期頃写, ペン書, 朱鉤科段, 朱句切あり)。蔡仲之命冒頭部下半(S.5626 に繋がる)から多方冒頭まで存す。残二紙 21 行。一行 17 字。26.2 糎×39.5 糎。無界。本文には古体字(徳懷亂其厥終以罔既), 仮借字(戠→才, 汝→女)を用いない。世字を缺筆するが民字は缺筆しない(世字は「せ」の如き字体で略字と見なすこともできる)。加点はやや大きな朱点(星点)による句点, 読点(注釈構文と誤解したか), 破音(Ⅳ型, 經典釈文被注字と合致)がある。本文及び加点的の状態から見て, 書写年代は 8 世紀前期以降 8 世紀中後期まで降るか。2007 年 9 月 28 日調査。

## 2. 本文

- ・古体字（徳懷亂其厥終以罔既），假借字（哉→才，汝→女）を用いない。
- ・缺筆：民 5 例（字体が確認できる 4 例は缺筆せず），世 3 例（字体が確認できる 2 例は「せ」の字体であり略字と見なすこともできる），治 3 例（字体が確認できる 2 例は缺筆せず）
- ・8 行目割注を一行にする。

## 3. 加點

- ・句点：60 例
- ・読点：1 例（注釈構文と誤解したか）詳審，汝視聽。（013）
- ・破音：IV 型 1 字種（蒲）2 例  
入声 2（蒲 :k018,k'019）  
※ k 数字は經典釈文被注字箇所

<1>

- 001:…[克]勤無怠.[以]…  
 002:…迹.而法循之.能…[世]々稱頌.乃當我意》率乃祖文王  
 003:…[若][尔]考之違王命《言當循文王之常教.以父違命.故爲世k》  
 004:…[無]親惟徳之輔.民心無常.惟惠之  
 005:懷《天之於人.無有親疏.惟有徳者.則輔佐之.民心於上.無有常主.惟愛己者.[則]歸之》爲善不同.々  
 006:歸于k治.爲惡不同.々歸于亂《言人爲善[爲]惡.各有[百]端.未必正同[治]乱所[歸]  
 007:不殊.宜慎其微也》尔其戒哉.慎厥初惟厥終.々以（不）困.不  
 008:惟厥終.々以困窮《\*汝其戒治乱之機哉.作事云爲必慎

<2>

- 009:其初.念其終.則終用不困窮》k 林乃攸績.睦乃[四][鄰][以]k 蕃王[室][以]\*[和]  
 010:兄弟《勉汝所立之功.親汝四鄰[之][國][以]k' 蕃屏王室.以和協同姓之邦諸侯[之][道]》康濟小[民]率自  
 011:中.無作聰明乱舊章《汝爲政當安小民之居.成小民之業.脩用大中之道.無敢爲小聰明.  
 012:作異辯.以變乱舊典文章》詳乃視聽.罔以側言改厥k度.則予  
 013:一人汝嘉《詳審.汝視聽.[非]礼義勿視聽.無以邪巧之言.易其常k'度必k斷之以義.則我一人善汝》王曰  
 014:嗚呼小子胡.汝往哉.無荒弃朕命《歎而勅之.欲其念戒小子  
 015:胡.汝往之國哉.無廢弃我（命）欲其終身奉行.後世k尊則》（成王東）[伐]淮夷.遂k踐  
 016:奄《成王即政.淮渭奄國又…之.遂滅奄而徙之.以…》…王k政《爲平淮夷.從…

017: 令也亡》成王既踐奄.將…《…

018: 之惡者.於k蒲r々姑.々齊地.k近中國教化之》周…《…

019: 之君於k'蒲r姑.告召公.使爲此策書告令也亡》

020: 多方第二十…

021: (成王) 歸自奄《伐奄[歸][也]》在…

(注)

008: 伝文を割行にせず。

009 「和」: 左上角に朱点あり。紙背の映りか。

## **[S.5745] 尚書卷第2 大禹謨前半「勸之以九哥」至後半「(惟乃之) 休」孔伝冒頭「使我」**

### **1. 書誌**

内題・尾題欠。IDP 画像無し。楮紙。洋紙裏打。第1片(9行)と第2片(12行)の合計21行。一行15-16字。第1片27.0 糎×20.5 糎, 第2片27.0 糎×28.5 糎, 墨界, 8世紀初期写。本文には古体字が多く用いられる(20字種36例)。缺筆は民(全7例, 古体字2例は非缺筆), 世・治は缺筆されない。欄外補入及び朱書による本文訂正あり。加点は朱点(星点)による句点, 読点(注釈構文の句切), 破音(Ⅳ型)がある。第1片2008年12月1日, 第2片2010年1月19日調査。S.801(卷第2大禹謨後半)と僚巻か。

### **2. 本文**

・古体字: 20字種36例

以:1\_001,2\_003,2\_006,2\_006,2\_011, 壞:1\_001, 時:1\_003,2\_004, 禹:1\_004,1\_006, 有:1\_004,2\_010, 徳:1\_006,2\_006,2\_010, 罔:1\_006,2\_002,2\_006, 民:1\_006,2\_010, 懷:1\_007, 皐:2\_002,2\_005, 五:2\_003,2\_003, 弼:2\_003, 期:2\_003,2\_004, 懋:2\_005, 愆:2\_006,2\_006, 簡:2\_006, 嗣:2\_007, 罪:2\_008, 其:2\_009, 從:2\_011

・缺筆: 1字種7例

民:1\_007,1\_007,1\_008,1\_008,2\_004,2\_005,2\_011 (7/9) (民:1\_006,2\_010は古体字)

(非缺筆例) 世:2\_007,2\_007, 治:1\_003,2\_003,004

### **3. 加點**

・句点: 28例

・読点: 1例(注釈構文の句切) 2\_007

・破音: Ⅳ型4字種(才亡已女誤)8例

平声3(才:2\_005, 亡:2\_008,2\_008)

上声5(已:1\_002, 女:1\_004,2\_003,2\_005, 誤:2\_008)

- 1\_001: 勸之以B九哥k俾勿[k壞B]《…  
 1\_002: 勿壞在此三者而已s》帝曰俞地平天[成]…  
 1\_003: 永頼時B乃功《水土治日平五…歎美之言是[汝]…》…  
 1\_004: 女s禹Bk朕宅帝位卅有B三[載]…  
 1\_005: 惟弗忘摠朕師《八十九十曰…k厭倦万機…  
 1\_006: 欲使[攝]也》禹B曰朕德B罔B克.民B[弗]…  
 1\_007: [德]德乃k降黎民K懷B之《邁…民K…  
 1\_008: 繇布行其德.下k\*洽於民K民K歸服之也》帝念才念茲[在]…  
 1\_009: 《茲此釋廢也念此人在此功廢此人在此罪言不可誣》名言茲在茲允出茲在
- 2\_001: 茲惟帝念功《名言此（事必在）此義\*信出此心亦在此義言[皐][繇][之][德]以義爲主所  
 宜念也》帝  
 2\_002: 日皐B繇惟茲臣庶罔B或\*〔于=干〕予正《或有也無有于正.言  
 2\_003: 順命》女s作士明于五B刑以B弼B五B教期B于予治  
 2\_004: 《弼輔期k當也歎其能以刑輔教當於治體》刑期B于亡刑.民K協于中.時B  
 2\_005: 乃功k懋B才p《雖或行刑以殺止殺終無犯者.期於無所刑.民K皆命于大中.是女s之功.勉  
 之》皐B繇  
 2\_006: 曰帝德B罔B愆B.臨下以B簡B.御衆以B寬《k愆B過也善則歸君.人  
 2\_007: 臣之義》罰弗及嗣B.賞延于世《嗣亦世.俱謂子也延及也父子罪不相及而及其賞.道德  
 2\_008: 之\*〔政〕》k宥過亡p大刑故亡p小《過誤s所犯.雖大必宥.不忌故犯.雖小必刑》罪B疑  
 惟+\*輕功  
 2\_009: \*+ 誰重《刑疑附輕.賞疑從重.忠厚之至》與其B殺弗k辜.寧失弗經.k好生  
 2\_010: 之德B.洽於民B心.茲用弗犯于有B司《辜罪也經常也司主也皐  
 2\_011: 繇因帝勉已.遂稱帝之德.所以明民K不\*犯:上也寧失不常之罪.不枉不辜之[善].仁愛之  
 道》帝曰.俾予從B欲以B  
 2\_012: …休《使我…》

(注)

- 1\_008 「洽」, 「治」の誤写。  
 2\_001 「信」, 下方に朱汚あり。  
 2\_002 「干」, 墨書「于」を朱書「干」に訂正  
 2\_008 「政」, 下字を朱筆で「政」に訂正。  
 2\_008 「輕功」, 下欄外補筆。



2\_009 「誰」, 上欄外補筆。

2\_011 「犯」, 下方に朱墨の点発「:」あり。

## 【S.6017】尚書卷第9 洛誥前半「惟曰不享」伝文「識百君」至「和恒四方」

### 1. 書誌

内題無し。IDP 画像無し。楮紙。洋紙裏打。紙背「尚書卷第五毛書卷第十」。12行。一行15-16字。26.1 糎×28.0 糎。罫引(界高22.5 糎)。700年頃写。小紙片となって脱落した本文が、元と違う場所に貼付されていることがある。本文には古体字が多く用いられる(15字種17例)。缺筆は治1字のみで、民は缺筆されない。加点は朱点(星点)による句点と破音(Ⅳ型)がある。2007年9月26日調査。

### 2. 本文

・古体字：15字種17例

享 :002,002,012, 時 :006, 篤 :006, 罔 :007, 敢 :007, 其 :008, 裕 :009, 稱 :011, 德 :011, 以 :011, 揚 :011, 烈 :011, 天 :012, 和 :012, 四 :012

・缺筆：1字種1例

治 :003 (1/1)

(非缺筆例) 民 :002,003,004,005,009,010 (0/6), 世 (用例なし)

### 3. 加點

・句点：35 (読点無し)

・破音：Ⅳ型1字種(才)3例

平声3(才 :006,008,008)

001: 《…[識] (百) 君諸 (侯之奉上) 者. 亦識其有違 (上) 者奉 (上之道) [多] 威儀. 々不及礼物惟曰不奉上矣》

002: 惟弗役志于享B 凡民. 惟曰弗享B. 惟事爽

003: 侮《言人君惟不役志於奉上. 則凡民化之. 惟不奉上矣如此則惟政事其差\* 錯侮慢. 不可治K 理也》

004: 乃惟孺子. 放朕弗暇. 聽朕教女于k 斐民彝

005: 《\* 我爲政常若不暇. 汝惟小子. 當分取我之不暇而行之. 聽我教汝於輔民之常而[用] (之)》\* (女乃是不)

006: k 獲廼時B. 惟弗永才p 《汝乃是不免[爲] 政. 汝是惟不可長哉. 欲其必免爲可長也》 篤B

007: 敘廼正父. 罔B 弗若予不敢B 廢廼命《厚次序. 汝正父之道而行之. 無不

008: 順我. 所爲則天下不敢\* 棄汝命. 常奉之》 女往敬才p. 茲予其B 明\* [教] 農才p. 彼

- 009: 裕B我亡遠用戾《汝往居新邑.敬行教化哉.如此我其退老明教農民以義哉.彼天下被寬裕之  
010: 政則我民無遠用\*來.言皆來矣也》王若曰.公明保予沖子《成王順周公意.請留之自輔.言  
011: 公當明安汝.我童子不可去也》公稱B丕顯德B.以B予小子.揚B文武烈B《[言][公]  
012: 當留舉大明德.用我小子.k褻楊文武之業而奉順天命也》奉\*享B天B命.和B恒四B方

(注)

- 003: 「錯侮」, 天地逆の紙片で存す。  
005: 「我」, 上欄外に紙片で存す。  
005: 「女乃是不」, 脱落部分に伝文「上/汝」の紙片が天地逆で存す。  
008: 「棄」, 「世」を欠画し, 「木」を欠く。  
008: 「教」, 旁を朱書で上書補訂す。  
010: 「來」, 右肩に朱線あり。  
012: 「享」, 「答」の誤写(古体字が類似)。

## 【S.8464】尚書卷第6 泰誓中末尾伝文至泰誓下前半「祝降時喪」伝文「其命故下是」

### 1. 書誌

内題「泰誓下第廿九」(004)。IDP画像有り。黄楮紙。裏打。二紙(第1紙7行, 第2紙9行, 合計16行), 一行15-16字, 27.0 糎×34.5 糎, 薄墨界(界高23.5 糎×界幅2.3 糎), 8世紀中期写か。本文には古体字が多く用いられる(16字種22例)。缺筆は民(全3例)・世(全2例)。加点は朱点(やや大きめの星点)による句点が字画近くに加点される。読点の例は無い。破音は期待される箇所にも一切無い。2006年3月7日調査。

### 2. 本文

・古体字: 16字種22例

厥:002,003,005,007, 德:002, 誓:004,005, 時:005,015, 有:007, 類:007, 五:008, 絶:009, 之:010, 賢:010, 戮:011, 信:011, 保:012, 奴:013, 廟:014, 享:014, 以014

・缺筆: 2字種5例

民:002,009,009 (3/3), 世:003,003 (2/2)

### 3. 加點

・句点: 30例(読点無し)

・破音: 無し

<1>

001:…《…心寧執非敵之志伐之則克矣》

- 002: 若崩厥 B 角 《言民 K 畏紂之虐 . 危懼不安 . 若崩摧其角无所容頭也》烏摩乃一德 B  
003: 一心 . 立定厥 B 功惟克永世 K 《汝同心立功則能長世 K 以安之也》  
004: 泰誓 B 下第廿九  
005: 時 B 厥 B 明 . 王乃大巡六師 . 明誓 B 衆士 《是其戊午明日 . 師出  
006: 以律 . 三申 k 令之 . k 重難之義衆士百 [ 夫 ] k 長 k [ 以 ] k 上也》王曰烏摩我西土君子  
007: 天有 B 顯道 . 厥 B 類 B 惟彰 《言天有明道 . 其義類惟明言王所宜法則》 +\* { 今 } 商王  
<2>  
008: 受狎侮五 B 常 . 荒怠弗敬 《輕狎五常之教 . 侮慢不行大爲怠 k 惰 . 不敬天地  
009: 神明》自絶 B 于天 . 結怨于民 K 《不敬天自絶之 . 酷虐民 K 結怨 \* [ 之 = 也 ]》 k 斲 k 朝涉  
010: 之 B k 脛 . k 剖賢 B 人之心 《冬月見朝涉永者 . 謂其脛 k 耐寒斬而視之比于忠諫 . 謂其心異 \* 人 &  
於剖  
011: 而觀之 . 酷虐之甚》作畏殺戮 B . 毒 k \* 痛四海 《痛病也言害所及遠》崇信 B  
012: 姦回 . 放黜師保 B 《廻 k 邪也紆耶之人 . 反尊信之可法以安者 . 返放退之也》屏弃  
013: 典刑 . 囚奴 B 正士 《屏弃常法 \$ \* 箕而不顧 . 箕子正諫 . 而以爲囚奴》郊社弗修 . 宗  
014: 廟 B 弗享 B . 作奇 k 伎淫巧 . 以 B 悦婦人 《言紂廢至尊之敬營卑 k 褻惡  
015: 事作過制伎巧以恣耳目之欲》上帝弗順 . 祝降時 B … 《…  
016: [ 其 ] [ 命 ] [ 故 ] [ 下 ] [ 是 ] …

(注)

- 007 「今」, 朱書補入。  
009 「之 = 也」, 墨書「之」を朱書「也」で重書訂正。  
010 「人於」, 「人」右傍に朱転倒符, 「於」字画中に朱圈点。  
011 「痛」, 朱書で字体補訂。  
013 「箕」, 右傍墨書「卜」で見消。

## 参考文献

- 石塚晴通 1970 : 楼蘭・敦煌の加标点本 (『墨美』第 201 号, 墨美社)  
石塚晴通 1992 : 敦煌の加标点本 (池田温編『講座敦煌』5「敦煌漢文文献」, 大東出版社)  
石塚晴通 1995 : 声点の起源 (築島裕編『日本漢字音史論輯』, 汲古書院)  
小助川貞次 2007 : 東アジア漢文訓読資料としての敦煌加标点本の意義 (『国語国文研究』第 131 号, 北海道  
大学国語国文学会)